



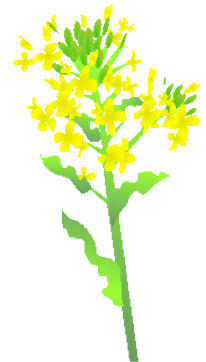
平成30年度 湯浅町立湯浅小学校

学校評価アンケート集計結果

学校評価アンケートのご協力ありがとうございました。

日ごとに暖かく感じることも増え、早春の息吹を感じられるようになってきました。保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動並びにPTA活動に対して、ご理解ご協力いただき、誠にありがとうございました。

さて、1月にご協力いただいた学校評価アンケートについて、集計を行いましたので、ご報告させていただきます。紙面の都合上、特に顕著な部分を中心に掲載させていただきます。(詳しくは、学校HPをご覧ください。)



I 学校経営・教育活動に関するアンケートについて

全項目において、「①とてもそう思う、②まあそう思う」の合計が多かったのは、

『①学校は学校の教育方針や取り組みを家庭に伝えている (PTA 総会・懇談会・たより・HP)』

85.4% (←昨年度 93.3%)

『②学校は学校での子供の様子を伝えている』 87.6% (←88.2%)

『③子供は楽しく学校に通っている』 94.5% (←95.7%)

『⑨通知簿は子供の学力や学習状況がよくわかり適切である』 83.6% (←84.0%)

『⑰学校行事 (授業参観など) は、保護者にとって参加しやすくなっている。』 84.4% (←84.6%)

でした。昨年度もそうでしたが、『③子供は楽しく学校に通っている』が最も多いのは、学校としても、とてもうれしく感じているところです。また、『①学校は学校の教育方針や取り組みを家庭に伝えている (PTA 総会・懇談会・たより・HP)』や『②学校は学校での子供の様子を伝えている』が多い点については、学級通信・学年だより等で、日々の子供たちの様子についてお伝えしたり、担任からも必要に応じて連絡を取らせていただく中で、このような評価になっているのではと考えると、非常に有り難く思います。ただ、18項目の質問のうち「判断できない、わからない」という回答が10%を越えていたものが9項目ありました (昨年度7項目)。これについては、学校評価を行う上で必要な情報が少ないと感じられているのではと考えています。来年度、この点について、改善できるよう工夫していきたいと思えます。

また、今年度の傾向として、「①とてもそう思う」と「②まあそう思う」の比率について、昨年度と比較してみると、「②まあそう思う」の割合が減少して「①とてもそう思う」の割合が増加した項目が全18項目中15項目になりました。特に、多かったのが

『③子供は楽しく学校に通っている』 52.0% (←42.5%)

『⑥学校は学力を向上させる取組を行っている』 21.7% (←13.7%)

『⑧学校は読書の取り組みを積極的に行っている』 32.5% (←20.7%)

でした。この点についても、学校としては非常にうれしく感じているところです。今後、さらに、「①とてもそう思う」の割合が増加していくよう、取組を充実させていきたいと思えます。

ここで、教育内容について、少し説明をさせていただきます。本年度と来年度は、新しい学習指導要領の移行期間となります。再来年度（2020年度）から、小学校では新しい教育課程（カリキュラム）となり、教科書も全面的に新しくなる予定です。詳細については、可能なかぎり情報発信していきたいと考えていますが、現在、文部科学省もホームページやリーフレットで広報していく予定になっています。

では、移行期間2年目の来年度（平成31年度）、湯浅小学校では、どのように変わるのかについて説明します。

まず、外国語、外国語活動の全面実施です。平成31年度から、5・6年生の外国語の授業が50時間から70時間となり、週2時間学習することになります。また、3・4年生の外国語活動の授業は、20時間から35時間となり週1時間学習することになります。

そのため、3～6年生は、週に1時間、授業が増えることになります。特に、4～6年生については、水曜日にも6限目の授業を行うことになるので、下校時間が遅くなる予定です。ただ、他の曜日よりは早めに下校できるように下記のように変更する予定です。

下校時間 4～6年 月、火、木、金→16:00 水→15:00（現在14:30）

また、外国語・外国語活動については、ただ単に授業時間数を増やすのではなく、内容の充実のため、今年度、国際教養大学の先生に何度か授業を観ていただき、ご指導いただく中で、授業内容の充実に努めています。

さらに、本校は、今年度と来年度、文部科学省の事業指定を受けて、新しい学習指導要領で特に求められる「主体的・対話的で深い学び」となるような授業づくりについて、全教職員で研究を行っています。今年度は、文部科学省の教科調査官や横浜国立大学の先生にも来ていただき、新しい学習指導要領の完全実施に向けて準備を進めています。来年度も引き続き研究を行っていく予定ですので、保護者の皆様にもご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

次に、「③あまり当てはまらない、④当てはまらない」の合計が最も多かったのは、昨年度と同じく

『⑩子供たちはあいさつがよくできている』25.0%（←昨年度29.0%）

でした。アンケートの記述部分には、

○知らない子供さんがあいさつをしてくれることが増えたなあと道ですれ違うたびに感謝しています。

○校内、校外とどちらでもすれ違いに子供たちから気持ちのよいあいさつをしてくれると健全に成長してくれているのを感じます。

○あいさつのできる子が増えてきたと思います。

というご意見がある一方、

○あいさつ運動に参加したとき、元気にあいさつしてくれる子供が意外と少ないと思った。

○もう少しあいさつができればと思います。学校への訪問者または保護者に対して無関心なのは安全面にしても礼儀的にもいけないことだと思うのですが。



というご意見もありました。数値的には、「あまり当てはまらない」「当てはまらない」の評価が少し減って「とてもそう思う」「まあそう思う」の評価が少しだけ増えました。ただ、町民の方々や保護者の方からは、「最近、道ですれ違ったときにあいさつしてくれる子供が増えてきて気持ちがいいです。…うれしくなりました。」という趣旨の声が直接学校に届くことが増えてきたように思います。まだまだ全員が自分から元気に誰に対してもあいさつできているとは言えませんが、あいさつについては、児童会でも活動の中心として取り組みを進めているところです。どうか保護者の皆様にも子供たちを励ましていただき、もっと自分からあいさつできる子供を育てていきたいと思ひます。



また、それに関連して、今年度も言葉遣いやコミュニケーションについては、

- 言葉遣いが悪くなってきている。高学年の女子が気になります。スマホ、タブレットの使いすぎ、がんばらなければいけない課題です。
- 相手の気持ちをもう少しわかるようになってほしいと思ひます。言葉遣い、教えたことがない言葉をよく耳にするようになりました。
- 言葉遣いが少し乱暴なのが気になります。ゲームをしていて、暴力的な言葉がとびかっいて、何度か注意しているが、皆が言うのでなかなか改善されない。

などの記述があり、これについても昨年度と同じように、保護者の方からの声はいくつかありました。学校においても、子供同士のトラブルの原因が不適切な言葉遣いということがあります。相手の立場にたって話をしたり、自分の気持ちをコントロールしたり等、様々な機会を通じて、言葉遣いやコミュニケーション力が向上していくように、保護者の皆様と一緒に取り組んでいきたいと思ひます。

Ⅱ 教育活動に対しての保護者の皆様方に関するアンケートについて

7項目の質問のうち、「①できている、②まあできている」の合計が多かったのは、

『②授業参観は出席するように心がけている』96.9% (←昨年度 97.6%)

『⑦子供とのコミュニケーションやふれあいができている』94.7% (←93.9%)

でした。授業参観には毎回、たくさんの保護者の皆様にご参加いただき、学校としてもうれしい限りです。逆に、「③あまりできていない、④全くできていない」の合計が多かったのは

『③学級・学年懇談会は出席するように心がけている』48.0% (←昨年度 52.6%)

『⑥学校にかかわる意見や要望を知らせている』37.2% (←40.2%)

『③』については、昨年度よりさらに数値が低くなってしまったのは学校としても反省しなければならない点だと考えます。もっと魅力のあるものになるよう工夫していきたいと思ひます。

また、今年度、非常にうれしかったのは、

『⑤PTA活動や地域行事には参加するようにしている』の、「④全くできていない」割合が1.6% (←昨年度 14.7%) だったことです。年々、朝の「こえかけ運動」や夏の「プール監視」、PTAの夜の会議、PTAコーラス等、参加率が非常によくなってきています。来年度も、PTA活動等へのご協力、よろしくお願ひいたします。

Ⅲ ご意見をいただいた事柄について

本当にたくさんのご意見をいただきました。すべて印刷して職員一人一人が拝見いたしました。紙面の都合上、複数のご意見をいただいた内容を中心に紹介させていただきます。

また、個々のすべてのご意見については、学校として全教職員で共有して、今後の学校教育に生かして参りたいと思います。

◇生徒指導等について

- 低学年の子供さんに目立つのが、車が近づいているのにわざと道をはみ出したり、すぐに避けようしない子供たちです。一部のお子さんかもしれませんが、毎回違う子供で何度も見かけるので、よくなってきていることがあるからこそ、気をつけたらもっといいのになあとと思います。
- 交差点でカーブミラーをみているのかどうかわからないのですが、一時停止せずに自転車で進入しているのをたまに見かけます。ヒヤッとします。
- 登下校時、右側通行左側通行の子供、車が来ても気にせず遊びながら歩いている子供たちが少しいます。小学生の子供たちで声を掛け合って安全に登下校してくれたらと思います。

最も多かったのが、上記のような、登下校時の安全確保についてのご意見でした。学校としても、交通安全教室等を実施するなど、日々、子供たちに指導しているところですが、町民の方からも同様の声をいただくことがあります。子供たちの交通安全に対する意識をさらに高めていけるよう、様々な取り組みを今後も大切にしていきたいと考えています。

◇家庭との連携について

- 忘れ物が多い。社会に出ても必要なスキルなので、必要に応じて指導をきちんとしてほしい（親としては何を忘れていくかわからない）。
- 毎日に帰ってきたら何かと忘れ物をしていることが多いので、帰りに一言かけてくれたら助かります。

時々、体操服を学校へ届けていただくなど、日頃よりご協力いただき、ありがとうございます。学校においても、学年に応じて、宿題などの提出物や授業の準備等、忘れることがないように取り組みを進めています。学年、学級、さらには個々に応じた指導方法もあるかと思しますので、今後とも粘り強く指導してまいります。ご協力、よろしくお願いいたします。

子供たちの成長や感謝のお言葉もたくさんいただきました。

- 先生と友人に恵まれて、まっすぐ素直に前向きなことは積極的に取り組む姿勢がみられると思います。ありがとうございます。
- 友だちがたくさんできて、同学年だけでなく別の学年の友だちとも遊ぶようになり、友だちを大切にするという気持ちが伸びている。
- 他の地域の保護者の方々とお話する機会があると、学校の取り組みや先生方のご指導を自慢できるくらいすてきな学校だと思います。

貴重なご意見や温かい励ましのお言葉、本当にご協力ありがとうございました。どうかこれからも本校の子供たち一人一人がしっかりと成長できるように、保護者の皆様との連携を第一にして取り組んでまいりたいと思います。何卒よろしくお願い申し上げます。

